

特定非営利活動法人 小杉駅周辺エリアマネジメント  
第8回総会議事録

日時：平成26年6月21日 午後3時より6時

場所：リエトコートⅡ会議室

出席者：正会員総数58名うち出席者20名・委任状18名・書面表決14名

- 理事（安藤・豊田・塚本・松尾・青木・石井・芳賀・刀根・村山・森・酒井・山中（佳）・山中（栄）・瀧澤・市川・大坂）
- 監事 上田
- オブザーバー 櫻井（ザ・クラッシャイタワー）
- 行政 川崎市まちづくり局3名・中原区地域振興課1名  
事務局 3名

**司会：刀根理事**

刀根理事より定款第28条、30条2項3項により表決委任者18名・書面表決者14名により  
本総会が正会員総数58名のうち三分の一以上の出席があったことにより有効に成立した旨が報告された。

- 審議に先立ち安藤理事長より、挨拶がなされた。

刀根理事より議長選出が諮られ、立候補者がなかったため安藤理事長が推薦された。

- 議長：定款第27条により全会一致で出席者の中から正会員安藤均理事長が選出された。
- 議事録署名人：定款第31条2項により松尾寛氏、村山十九男氏が選出された。
- 議事録作成者：議長により鈴木事務局次長が指名され選任された。

**審議内容**

**第1号議案**

➢ 平成25年度事業報告及び活動決算報告並びに監査報告の件

- 定款第26条3項に基づき事前に通知された議案書にのっとり、事業報告については豊田副理事長より、活動計算書については塚本専務理事より説明および報告がなされた。
- 定款第15条5項にのっとり、上田賢請監事より監査報告がなされた。帳簿などをさかのぼって、監査した結果、正しく記載されていることが報告された。

➢ 議事の経過の概要

第1号議案について事前に質問が寄せられている件につき理事より回答がだされた。

**事前質問**（ザ・クラッシャイタワー会員上田さまから：以下上田会員）

Q25年度活動計算書によれば、当期経常増減額は3,199千円の増、24年度も2,149千円の増、この結果25年度末の正味財産は14,278千円となり、25年度1年分の経常費用計13,279千円を上回っています。

上記の財政状態についての執行部の見解をお教え下さい。

**A**塚本専務理事：手元に準備しておく必要資金として、お借りしている事務所をお返しする時に備えた現状復帰にかかる費用約300万円、新たな事務所に移る場合の引越、敷金礼金含めた賃料水準として坪2万円を仮置きの数値として合計1,000万円は最低限残しておきたいと考えており、それを踏まえると、現在の財産の状態は悪くないと、考えています。契約している税理士事務所からも財産の状態としては、適正と判断されています。

**補足** 豊田副理事長：財産状況が今まででは悪かったのですが、今エリマネ自体の活動がだいぶ認められ、補助金や協賛金が多く頂戴できるようになり、初めてこのような財産状態が作れるようになったことが挙げられます。更に各理事やボランティアの皆さんのご協力の結果で、やっと今に至ったことをお含み頂きたいということを補足します。

**補足** 上田監事：潜在的な債務について、事業上のリスクという意味で、来年度から注記に記載することが必要と考えられます。

**Q**上田会員：今は1,000万円が必要という回答であるが、1000万円押さえておけば安全ということであるが、今年の予算も費用が増えていくと思うが、どこまで正味財産（金額）が増えるのが適正と考えているか。

**A**豊田副理事長：どの程度のものが必要かということは難しい問題であるが、今の段階ではこの金額で一つの目安である。今後の動きが非常に不確定であるので、それに合わせて正味財産も合わせて考えていかなければいけないので、今後の課題として考えていきたい。

志村正会員：事務的な提案をさせていただきたい。決算数値の各科目的細項目について口頭説明の必要なものは、備考欄を設けて簡単な記載をしておくと読む方にもわかりやすいので検討ください。例えば未収金や未払い金、預かり金といった科目はその細目をきちんと記述しておいた方がよい。

**Q**上田会員：積算の根拠を教えてほしい。

安藤理事長：現状復帰などは見積もりを取って積算したが、他はあくまでも一応の概算である。（80坪を借りるのは無理があるので、半分として仮置きである。）

上田会員：こちらは貸主なのでどのくらいを見ているのかお聞きした。

**A**安藤理事長：他に質問が無いようなので採決をとりたい。改めて報告します。本日の出席者20名。本日の議決件数は定款第29条2項にのっとり第1号議案から第3号議案の承認については、出席者20名、委任状18名、書面表決14名、合計52名。過半数27票の議決が必要。手元配布のオレンジカードで表決。

### 第1号議案の採決

賛成20票、委任状18票、書面表決14票。第1号議案は満場一致により原案通り可決承認された。

## 第2号議案

- 平成26年度事業計画案及び活動予算案の審議
- 定款第26条3項に基づき事前に通知された議案書にのっとり、事業計画案について安藤理事長、活動予算案については塚本専務理事より説明および報告がなされた。基本方針について安藤理事長より事前配布資料に基づき説明がなされた。

主旨概略：マンション同士のネットワークを強化し、周辺地域との交流を図り相互理解を深め「人にやさしいまちづくり、住みたい街、住んでよかった街」を目指す。その一つとして

1. 武蔵小杉エリアに新たな価値の創造として「プラスケアプロジェクト」「こすぎの大学」を新たな取り組みとして立ち上げる。

具体的な活動方針について⇒「プラスケアプロジェクト」は、「病気にならない街・病気になっても安心して暮らせる街」を目指し、住民が身近なところから自らの健康について、感じ、考え、実践する機会を設ける。

「こすぎの大学」は毎回地域で活躍する様々な人物にフォーカスを当て、その人の話の中から考え方、感じ方を学び、自ら取り込んでいくことを目標としたワークショップ形式の講座で26年度中原区市民提案型事業に採択されている。

2. 周辺地域とのより深度を増した交流

周辺地域として、町会、商店街などがあるが具体的な交流活動には繋がっていないが、本年度、本音で語り合える関係つくりを目指してより多くの機会を設け、防犯防災をはじめとした地域共通の課題への取り組みを進めていく。

3. 財務体質の改善

平成25年度の収支は連続黒字を確保できたが、平成26年度予算では多くの事業が旗揚げするなど広域事業を展開するNPO法人という立場から会費収入のみに依存する体制から事業に伴う公的助成金、補助金、一般からの協賛金、広告収入などを増やしていく。

4. 今後のエリマネのあり方の検討の開始

マンション地域の増大に対して、コミュニティ形成などマンション住民のみならず、周辺地域、行政などからもエリマネへの期待や要望が高まってきている。本年度は具体的な検討を始めるべく現状や将来像を見据えて、周辺利害関係者とも議論を行い、武蔵小杉エリアの将来を踏まえて今後のエリマネのあり方について検討を開始する。

今年度以降「コスギフェスタ」は会場を「こすぎコアパーク」に決定し、26年度は10月25日土曜日の開催が決定した。

**事前質問**：ミッドスカイタワー会員志村様から

Q 過去にもエリマネのありかたを問うという動きは第4期や第5期にも見られたが、今回同様な問題提起をしたのは、どのような背景か？過去との違いは何か？

**A 安藤理事長**

背景としては、エクラスターの加入及び来年加入する予定のプラウドの2棟の高層マンションにより既存の小杉3丁目町会をはじめ、商店街など地域との調整を始めなければならないという状況になっているということです。また、今年度の「コスギフェスタ」を「こすぎコアパーク」をメイン会場として開催することによっても更に大きなかかわりが以前以上に増したことが挙げられる。

Q具体的などのような手続きで検討をするのか？独立の外部検討委員会や諮問委員会などを作るのか？外部有識者の選定はどのようにするのか？

A安藤理事長

小杉町3丁目及び商店街とは、限定した範囲内（エクラスター及びコスギフェスタに関する調整）で、当事者同士での話し合いを始めたところです。但し、将来繰々と竣工される高層マンションを考えて、エリマネとしては、エリマネのスタート時点における川崎市の関わり同様に、区役所に主導的な役割を担ってもらって、エリマネ、町会、商店街、デベロッパーなど利害関係者の方々で協議できる場をもって進めていきたいと検討中である。

今のところ検討員会は考えていないが、今後は検討していかなければならないと考えている。

質問に対する安藤理事長の回答が終わり、次は各事業内容について担当理事より説明がなされた。

(1) 公益事業

①まちづくりにおける都市環境の維持・保全に関する事業

早朝清掃（村山理事）

設立当初より引き続き活動を継続。今年度「セブンイレブン緑の基金」よりの助成金を受け充実した内容になってきた。特に子供たちの参加が増え、マナー向上に貢献してきている。

②まちづくりにおけるコミュニティ形成・育成に関する事業

a) パパママパークこすぎ(芳賀理事)

年間50回以上開催・市民提案型事業の受託で新たに15名のボランティアが入りシフトで運営している。キャパシティ20組のところ37組の参加があるなど需要が増えてきている。地域の方も参加し、盛況である。

b) 交流会ワーキンググループ（青木理事）

交流会としては例年のプロジェクトのほかに今年度「病気にならないまち・病気になっても安心して暮らせるまち」をモットーに「プラスケアプロジェクト」を立ち上げ事業展開を始めた。

c) コスギフェスタワーキンググループ（山中（佳）理事）

今年度は松尾理事が共同座長として活動する。2010年当初からの目的である子供たちの笑顔のためということと共に、4回目に入ったので、一つ大きな新しい事として武蔵小杉駅前商店街をはじめとして、商店街経済の波及効果をねらい、今回経済産業省の助成金（まちのにぎわい助成）を申請し、地域の方や商店街、みんなが良くなっていくことを検討し始めたことを報告する。

d) 小杉の大学（大坂理事）

地元のいろいろな分野で活動している方を招いて新しい刺激や交流を深め、生活に張りを与えることを目的としているので、講師に心当たりがある方は紹介をいただきたい。

e) おしゃべり電話（村山理事）

マンション住まいの方たちはドア一つ隔てると大変孤独な状態である場合もあり、心のケアの大事な部分、心に潤いを与える活動を継続している。

f) 広報グループ（豊田副理事長）

主に「こすぎの風」を中心として、HPなどの発信の活動をしている。特に機関誌「こすぎの風」については年々発行部数が伸びてきている。また、広告の希望も多く、必然的に掲載料も右肩あがりに上がってきてるので非常に助かっている。

g) 防災ワーキンググループ（塚本専務理事）

今まで高層マンションの防災活動の推進ということで共益事業として活動してきたが各マンションで自立的に防災活動が進められてきたことを受け、今年度から地域の防災活動に軸を振って、公益事業として活動する。川崎市の高層住宅の震災対応の適合証の交付を受けているのはミッドスカイタワーを皮切りに、4棟すべてエリマネの会員マンションである。また、中原区防災連携協議会の会議に入れていただくことになり、本格的に地域防災ということに対し情報発信などを進めていくようにしていきたいと思っている。

h) 防犯ワーキンググループ（石井理事）

25年度は防犯準備会として発足したが今年度からはワーキンググループとして活動を開始した。主な活動は防犯に関する情報の収集や発信、巡回やイベントの実施を計画している。2月には防犯巡回をしたが8月にはお子さん向けの防犯啓蒙イベントを考えている。来年には新入生向けのイベントも考えている。今後は新しい地域のマナー向上、警察および地域の町内会、関係団体との連携も模索しつつ新しい防犯のあり方を検討していきたいと考えている。

## （2）共益事業

a) エリアマネジメント連絡会議（塚本専務理事）

月に1回、マンション間の情報共有、エリマネ、周辺地域からの連絡、マンションから地域への要望のまとめなどを目的に実施している。例えば、グランツリーに対して説明会の要望などエリマネが窓口となって申し入れている。今年度はグランドディングタワー様、プラウド様が新しく参加予定である。

b) 情報交換地域ネットワーク事業（豊田副理事長）

マンションの各理事長、副理事長の情報交換の場であり、今回で3回目、来週行なわれる予定である。各マンション管理組合で困っていること等、それぞれのマンションの連絡を密にしていこうということで行っている。また、もう一点が武蔵小杉周辺地域の代表者、行政も含め商店街、町会などの代表者との情報交換を行っていこうとい

う趣旨で実施されている。

c) 会員マンション共益検討会（中山栄二理事）

会員相互の身近な課題の解決に関する事業であり、目下の検討課題は携帯電話の電波環境を改善していくことを目指してメーカーに働きかけて活動しているので、間もなく皆さんにフィールドバックができるかと考えている。また、各マンションの共通する悩みなどを協力して解決していこうと思っているので、問題などあったら提起していただきたい。

引き続き予算案について塚本専務理事より事前配布資料に基づき説明がなされた。

補足として中山佳彦理事よりコスギフェスタの費用についての説明がなされた。

趣旨概略：コスギフェスタ自体の予算としてはマイナス 50 万円であるが、5 月 3 日に実施されたチャリティコンサートの費用として 30 万円が計上されている。また、こどもたちへのお菓子が少ないとの苦情があったので、今年度は充実させていきたい。さらに先ほどの補助金については計上されていないので、今後決定した段階で商店街との折半ということになる予定なのでマイナスは消されると思われる。

**関連事前質問**

1) ミッドスカイタワー会員志村さまより

1. 財務体質改善について

Q 平成 26 年度の受取会費中「マンション管理組合会員会費」は￥813,000 増えているが、これはエクラスかザ グランドウイングタワーか？

A 塚本専務理事

マンション管理組合会費について 26 年度予算案と 25 年度実績の差額が 813,000 円ですが、その内訳は 2 点あります。1 点目はパークシティ武蔵小杉ザ・グランドウイングタワー様からの会費 6 ヶ月分として 910,800 円を計上しております。管理組合ができるのが秋とお聞きしていますので、あくまでも見込みとなります 6 ヶ月分の金額を計上させていただきました。2 点目はエクラスター武蔵小杉様の 25 年度会費は 13 ヶ月分をいただいております。それは平成 25 年 2 月 28 日に引き渡しされよく 3 月分も 25 年度分として合わせていただいたためです。26 年度予算案は 12 ヶ月分で計上していますので、昨年より 97,800 円少なくなります。910,800 円引くことの 97,800 円合計で 813,000 円となります。

Q ザ グランドウイングタワー、プラウドタワー、シティタワーがすべて加入した平年度ベースでの収入（2017 年度以降）の増額見込みを示されたい。（売出情報などによる戸数をベースとするなど一定の条件をおいた数値で可

A 塚本専務理事

資料画面から説明

あくまでも見込みであるが、3 棟の会費の予定は 26 年度パークシティ武蔵小杉ザ グランドウイングタワー様 6 ヶ月分として 910,800 円、27 年度はプラウドタワー武蔵小杉様が加わって 3,441,600 円、28 年度には 3 棟がそろって 6,321,600 円の増額予定になっている。

予算案に対する事前質問

ザ・クラッシイタワー会員上田さまより

Q活動予算書（案）によれば、事業費予算は11,090千円と25年度実績5,287千円に対し2倍以上に増額されています。管理費はほぼ同額であることから、同一の執行体制で2倍の事業を行うのは、無理のある予算編成だと思いますが、見解をお教え下さい。

A塚本専務理事

事業運営の多くが理事をはじめとした住民ボランティアによる活動で支えられているので、事業の広がりに比例して管理費が膨らむ構造では必ずしもありません。

各事業ごとにそれぞれ議論を重ねて運営体制を検討しておりますので、十分執行可能であると考えています。人件費についてはそれぞれの事業にいれこんでいる。

昨年度と今年度の事業費用について大きく違ひが出ているものについて簡単にご説明します。（※昨年度との差額は5,802,681円）

昨年度より事業支出が大きく増えている事業 3つ

- コスギフェスタ（1,677,871円増） 地域及び会場の拡大に伴い外注する警備、ステージ設営に伴う外注費用が大幅に増える予定です。（外注費用ですからスタッフの負荷が増えるものではない）
- 交流会（700,602円増）では プラスケアプロジェクトという「病気にならない街、なっても安心して暮らせる街武蔵小杉」を目指して予防医療に関する活動を始めます。医療関係者、スポーツ、その他健康に係る関係者がボランティアで関わっていただく計画で、また（オムロンやリクルート）いくつかの企業から金銭面、ノウハウ面の協力を得ながら進めていく予定としています。
- 防災（1,076,053円増）では、昨年度予算に計上していたものの、日程の関係で執行を今年度に延期した防災のイベントを3月に行うものとして対昨年実績では費用が増えています。
- 昨年まで事業ではなく、管理費の中で行ってきたものが2つ。今年度は事業費に入れないのでその分多くなった。
- 広報や情報交換会なども管理費から事業費に移したため、事業費は増えたということである。

Q上田会員

活動予算書（案）によれば、事業費の印刷経費は対前年比250%超の予算になっています。印刷物を全戸配布するか掲示のみに留めるかは、印刷経費に大きな違いが発生すると思います。また全戸配布は、当マンションの場合管理会社のロードになります。印刷物を発注する際、全戸配布を想定するか、掲示のみにとどめるか判断基準をお教え下さい。

A塚本専務理事

マンションエリアに留まらず、周辺小中学校および町内会への配布がかなり増えており、部数も増えているので、全体予算を増加した。

全戸配布の基準については、各ワーキンググループからの要望の通りにしておりましたが、配布物と集客との成果を把握し、今後は基準を設ける方向で進めてまいりたい。

**Q上田会員**

30名のところに5000枚、コスギの大学のように40名というところに全戸配布という事ではコスト的に合わないし、管理組合からも苦情が来ているので、今後コストと募集人数を考えて、配布数を考えてコントロールしてほしい。

**A塚本専務理事**

今後内部で検討していきたい。

**Q上田会員**

発注額の大きさにより、相見積もりをとるルールはありますか。また、事務職員の給与額の決定ルールをお教え下さい。

**A松尾理事回答**

経産省（中小企業庁）からの基準を適用して、見積もりを設けている。原則として10万以上50万以下は1社、50万以上100万未満は2社、100万以上は3社からとることになっているが、例外として100万以下の場合については、市場価格を調査していたり、継続して発注したり、市販品を店頭で購入する場合は省略できる。

**Q上田会員**

今の経産省の基準はどの程度の会社の規模か決まっているか。

**A松尾理事回答**

基準はない。普通の会社と違うが、相見積もりをとった時の人件費など相対的に見ていかなければならない。

**Q上田会員**

事務的には大変だと思うが、出来るだけ安いところでの購入を望む。

**A松尾理事回答**

市場価格もかなり調査しているが、人件費はほとんどボランティア価格であり、かなり安い価格である。

**補足豊田副理事長**

コスギフェスタはほとんどボランティア価格で実施しているが、一応のガイドラインを決めていきたいと思っている。

**A塚本専務理事**

事務局給与については、昨年度社労士事務所と契約して職員の就業規則、賃金体系の見直しを行い、市役所職員に近い労働条件であったものを、小所帯のNPOの実態に合わせて変更した。事務所の営業時間は火曜～土曜の10時～17時であるが、各事業の会合は土日や平日の夜などに行われるため、シフトを組んで回していくことが可能な形にした。事務職員は原則全員契約社員とし、時給制にしている。契約は1年度に更新している。

**その他の質問**

- イーストタワー会員楠木さまより

Q

今回初めて参加したので、根本的な質問であるが、この会の会費の半分はマンション会員からの収入であるが、主な事業は地域対象が多いのではないか。年々黒字であるが、それならばマンションの会費を減額しても良いのではないか。たとえば地域に配布するチラシを我々の会費から出すことも適正か疑問である。収入源と事業支出がアンバランスと思われる所以、根本的な考え方を教えてほしい。

A 豊田副理事長

基本的にこの組織は、マンションだけを対象にしているわけではない。NPOなので広域に対して作られている法人である。この法人は果たしてマンション住民に対して何ができるかを模索してきた。活動当初はマンション住民が少なくて地域住民で運営されていた。次第にマンション住民が増えてきて、ネットワーク強化、周辺地域との交流との相互理解、その中には町会、商店街、行政なども入っているが、マンション住民単独ではできることができることが限られている。エリアの新たな地域価値の創造を目指していくことを目指して運営してきた。武蔵小杉全体が良くなれば、存在価値が上がっていきことで、管理組合、マンション住民の価値が下がらない。これが根幹的な目的である。組織全体でどういう形になっていくかということは、いろいろな意見があるので、コミュニケーションを取り意見を集約していくべきかを考えている。

Q 楠木会員

今の回答だと、地域全体の価値を上げるということであれば、マンション住民だけでなく地域からも徴収するか、マンション会費を下げるかを考えても良いのではないか。個人的意見だが、地域に部外者が大挙して入ってきたご迷惑をおかけしているという会費ではないのか。今の目的地域全体ということであれば、収入自体も見合った内容にすべきではないか。

A 山中佳彦理事

歴史的な経緯を話せば、大規模マンション群の建設で一気に住民が増えるこの地区ではマンション住民を町会が受け入れることができないという考え方のもと、自治機能をもつエリマネが立ち上った。子どもたちにとってのふるさと帰属意識を考えコスギフェスタを企画した。交通の利便性だけでなく、地元の知らない店を知るなどワインワインの関係が保たれれば結果としてコスギの住民の利益になっていけばいいかと思う。

Q 楠木会員

自治会の代わりというのであれば、自治会としての機能は果たしていないので、納得できない。収入構造がマンションに偏っているのではないかということで、エリマネの存在そのものがいらないということではないので、誤解しないでいただきたい。ただ、収入と事業のバランスに無理があるので、改善をお願いしたい。

Q 志村会員

問題意識はリエトコートの皆さんと同じである。しかしエリマネは事業を縮小均衡するのではなく拡大均衡すべきというのが、ミッドスカイタワーの総意。そこで、今後しかるべき準備金、引当てなどは確保しつつ、財政事情が許せば、少しでも会員にメリットを均霑<sup>まんてん</sup>でき

るような施策なども考えてほしい。前理事長の松尾さん（本日欠席の正会員）から是非言ってほしいと承った意見として、エリア内の街頭に監視カメラなどを設置するとか警備会社と契約するなどの防犯対策を考えるなど、会員にとってメリットとなることを検討されてはいかがか？

## 第2号議案採決

採決を図った結果、満場一致で採決された。

## 第3号議案

塙本専務理事より新理事就任の提案がなされた。

リエトコート武蔵小杉ザ・クラシィタワー 櫻井 格 氏

リエトコート武蔵小杉イーストタワー 島田 典子 氏

## 第3号議案採決

採決を図ったところ満場一致で可決された。

以上で議案採決はすべて終了し、その他の事前質問についての議論がなされた。

### 事前質問

クラッシャイタワー会員上田さまより

Q

定款では、マンション管理組合会員は3名の正会員しか選出できない規定になっていますが、活動計算書によれば、マンション会員受取会費は10,332,600円です。マンション管理組合の住民は、1名の正会員資格を得るために約50万円の拠出をしているのに対し通常の正会員の年会費は4,000円となっておりマンション住民は拠出額を基準とすると通常の正会員の100分の1程度の議決権しか与えられていないことになります。非常に不公平に感じますが、執行部の見解をお教え下さい。

### A 安藤理事長

マンション管理組合から正会員を選出する人数について、また、一般正会員の会費額を4,000円にすることについては、一昨年の第6回総会において、承認決議されました。総会決議にあたり、約1年、マンション代表者の方にも入って頂き協議しました。

マンションのエリマネ加入加盟は、個人ではなく管理組合が団体としてマンション管理組合会員になっていただいた経緯があります。NPO法では、会社の資本とは違い年会費の口数や支払額にかかわらず会員は平等というのが原則ですので、その精神に則り、一般正会員の議決権に対して管理組合会員を代表して選出された正会員3人の議決権が支払額に比例した差がないことについては不公平であるとは考えていません。

マンション間で戸数に差がありますが、管理組合会員としては平等であるものとし、正会員の選出人数は3名で同数としています。

選出する人数については、マンション管理組合を「代表」するのに適当な人数として、3名以内と考えております。なお、マンションの住民の不利になるような議案をエリマネ理事会で総会に上程することはありません。以上で回答とさせていただきます。

**Q 上田会員**

我々はマンションに住んでいると自動的に管理組合の管理費から自動的に払われる仕組みになっている。町会には脱退の自由もあるがここにはない。このエリマネの活動を否定するものではないし、良い活動だと思っている。ただ、最初のガバナンス、最初の段階がおかしいと思う。

定款の中には、入会の規定があるが、普通の個人会員は入会規定があるが、マンション会員には何の規定もない。どういう形でマンション会員が加入するのか解らない。今の実態はデベロッパーが決めているのではないか。活動自体は評価しているので、全部変えることができなければ議決権などを払っている人に反映させていくように直していくのも一つの方法だと思う。また、先ほどの3人ということだが、このあたりの中小マンションは会員に入っていない。タワーマンションしか入っていないのであれば地域のために一緒にやりましょうということに合っていない。ネットワークもタワーマンションだけで地域全体にならない。例えば60戸や30戸などの加入の時はどうするのか。勧誘にする対象にしていないのか疑問に感じる。

**A 安藤理事長**

選定に関しましては基準がないので、ご意見という事で今後理事会の場で検討させていただきたいと思います。

**事前質問**

**Q 上田会員**

エリアマネジメントの現状を広く地域住民へ示すために、事業報告書等（事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書）をホームページで情報開示することが望ましいと考えますが、見解をお教え下さい。

**A 豊田副理事長**

はい。我々もそう考えています。今まで総会議案書を毎年HPにアップしてきたのですが、サイバー攻撃を受けたため、抜け落ちてしまっていました。お詫びいたします。事業報告、決算報告をHPにアップするようにいたします。

以上を以て、総会議事はすべて終了した。

来賓として参加の川崎市まちづくり局小杉駅周辺整備室岩田室長より挨拶を受けた。

挨拶概略：平成19年にエリアマネジメントを発足して以来、活動を推進してきた。まちづくり局による支援は昨年度で終了しているが、今後も続くマンション開発に伴うデベロッパーとの折衝は引き続き協力していく。また、区役所と連携し、引き続き支援、協力できるよ

うにしていきたい。

閉会挨拶

豊田副理事長

活動のメインは理事、ボランティアスタッフの皆さんであるので、活動資金などもクリーンな会費、ご寄付などを踏まえ武蔵小杉自体の資産価値向上を目指して今後も活動していきたい。

以上で第8回定期総会をすべて終了した。

ここに上記内容が正確であることを確認するために議事録を作成し、議長及び議事録署名人が署名捺印する。

平成26年6月21日

議長 安藤 均



議事録署名人 松尾 寛



議事録署名人 村山十九男

